

「『ビジネス』を護るサイバーセキュリティデイズ2023」を開催

～ 実践的演習とセミナーでサイバーセキュリティへの対応力向上を～

北陸情報通信協議会は、総務省北陸総合通信局、経済産業省中部経済産業局、（国研）情報通信研究機構、北陸経済連合会、北陸サイバーセキュリティ連絡会との共催により、3月2日、3日の2日間にわたり金沢商工会議所においてセミナーと演習で構成する「『ビジネス』を護るサイバーセキュリティデイズ2023」を3年ぶりに集合形式で開催しました。

初日のPractice Dayは、サイバー攻撃への対応能力を磨く実践的演習「Micro Hardening」を開催しました。講師である（株）川口設計の川口洋氏の指導のもと、北陸3県の産官学の分野から参加した48名が4名のチームに分かれ、提供された架空の電子商取引サイトに対する様々なサイバー攻撃に対処しました。参加者はチームで連携しながら45分の演習を3セット行い、会場は白熱した雰囲気になりました。

演習終了後は、サイバー攻撃への対応能力を点数化した得点が最も高かった「イースト（株）、カナカン（株）、金沢工業大学の合同チーム」に対し、小津局長から最優秀賞を授与しました。

3月2日【Practice Day (Micro Hardening)】

Micro Hardening
（サイバー攻撃対応
トレーニング）に
取り組む参加者



成績優秀チーム
への表彰状贈呈

3月3日【Seminar Day (サイバーセキュリティセミナー)】



トークセッションの様相

2日目のSeminar Dayは、サイバーセキュリティセミナーを開催し、70名が聴講しました。

北陸先端科学技術大学院大学の篠田陽一教授をファシリテーターに迎え、石川県商工労働部産業政策課が県内企業のデジタル化に関する意識紹介を、（株）FFRIセキュリティの中西克彦氏、EYストラテジー・アンド・コンサルティング（株）の森島直人氏、（株）川口設計の川口洋氏が、ランサムウェア攻撃への対応のポイントや、セキュリティ担当者や経営者がとるべき対策について、それぞれ講演しました。

続いて、トークセッションでは、参加者からのサイバーセキュリティ対策の考え方や経営者の意識高揚などの悩みごとに、篠田教授及び講演者が様々な視点から回答し、意見交換を行いました。